

スマートデバイスを利用した高セキュリティ・レコーディング・ソリューションを発表 ～ 高齢者向け金融商品販売ガイドライン対応で金融機関を支援～

日本能率協会グループのシステムインテグレータである株式会社ジェーエムエーシステムズ（本社：東京都港区、代表取締役：丸尾健司）は、2014年4月1日「高齢者向け金融商品販売ガイドライン」への対応を検討している金融機関を支援するために、スマートデバイスを用いた高セキュリティなレコーディング・ソリューション「KAITO（カイト）・セキュア・レコーダ」を販売開始いたします。

高齢顧客との会話を録音専用アプリで暗号データに変換し、電波の不安定な外出先でも確実にデータセンタに転送することが可能になります。転送完了後にデータセンタ側で音声データとして復元し、スマートデバイス側のデータは自動的に消去され端末にデータが残らないため、金融機関に要求されるセキュリティを確保することができます。（参考1）

ICレコーダや専用機器を購入することなく実現できるスマートデバイスの有効な活用方法の一つとして提案し、金融機関を中心に初年度30社への導入を目指しています。

■「高齢者向け金融商品販売ガイドライン」とは

近年高齢者向け金融商品販売のトラブルが増えているため、金融庁は高齢者向け金融商品販売の監督を強化しております（※1）。日本証券業協会では高齢者に対する投資商品の勧誘販売ルールの見直しについての規則改正とガイドラインを策定しており、高齢顧客の了解を得てICレコーダ等に会話を録音することや、帰社後に会話内容や高齢顧客等の様子を記録・保存しておくことと明記されております（※2）。

※1 金融庁 平成25事務年度 金融商品取引業者等向け監督方針

※2 日本証券業協会 高齢顧客への勧誘による販売に係る「協会の投資勧誘、顧客管理等に関する規則」等の一部改正及び「協会の投資勧誘、顧客管理等に関する規則第5条の3の考え方」（高齢顧客への勧誘による販売に係るガイドライン）の制定について

■KAITO（カイト）・セキュア・レコーダの特長

KAITO（カイト）・セキュア・レコーダはスマートデバイスで録音中の音声をメモリ上から直接、暗号化しながら分割して保存します。暗号化された分割データはサーバに非同期に転送され、転送完了後に復号化、音声ファイルとして再構成されます。転送完了後にデバイス上の暗号化データは確実に消去され、デバイスにデータは残りません。また、転送中に通信が切れても、通信再開後に送信を継続する為、利用者は転送されたか否かを気にする必要がありません。

（KAITO（カイト）・セキュア・レコーダの詳細は下記URLを参照願います）

<http://securerecorder.jmas.co.jp>

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社ジェーエムエーシステムズ 企画営業部

谷 直樹 / 山口 哲央

〒105-0022 東京都港区海岸 1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー18F

電話：03-3431-2638

電子メール：mkt-contact@jmas.co.jp

本件についての報道関係お問い合わせ先

株式会社ジェーエムエーシステムズ 企画営業部 電話：03-3431-2638 電子メール：mkt-contact@jmas.co.jp

(参考資料 1)

■参考 1 : KAITO (カイト)・セキュア・レコーダ 利用シーン

<重要な商談情報を安全に録音し、データは管理サーバで一元管理>



KAITO・セキュア・レコーダをご利用いただくと、お客様との重要な商談内容をスマートデバイスを使って安全に録音することができます。商談終了後にメモを残し、音声データをサーバへ転送します。データ転送は、非同期セキュア技術（特許申請予定）により通信状況に依存せず、高速かつ確実に実行されます。

また、転送完了後にはスマートデバイス内の音声データを削除します。万が一商談内容を録音したスマートデバイスを紛失しても、スマートデバイス内にデータが存在しないため、重要なデータの悪用を未然に防ぐことができます。

音声管理者は通常の業務で使っているパソコンを利用して管理サーバへ接続し、商談内容を確認します。

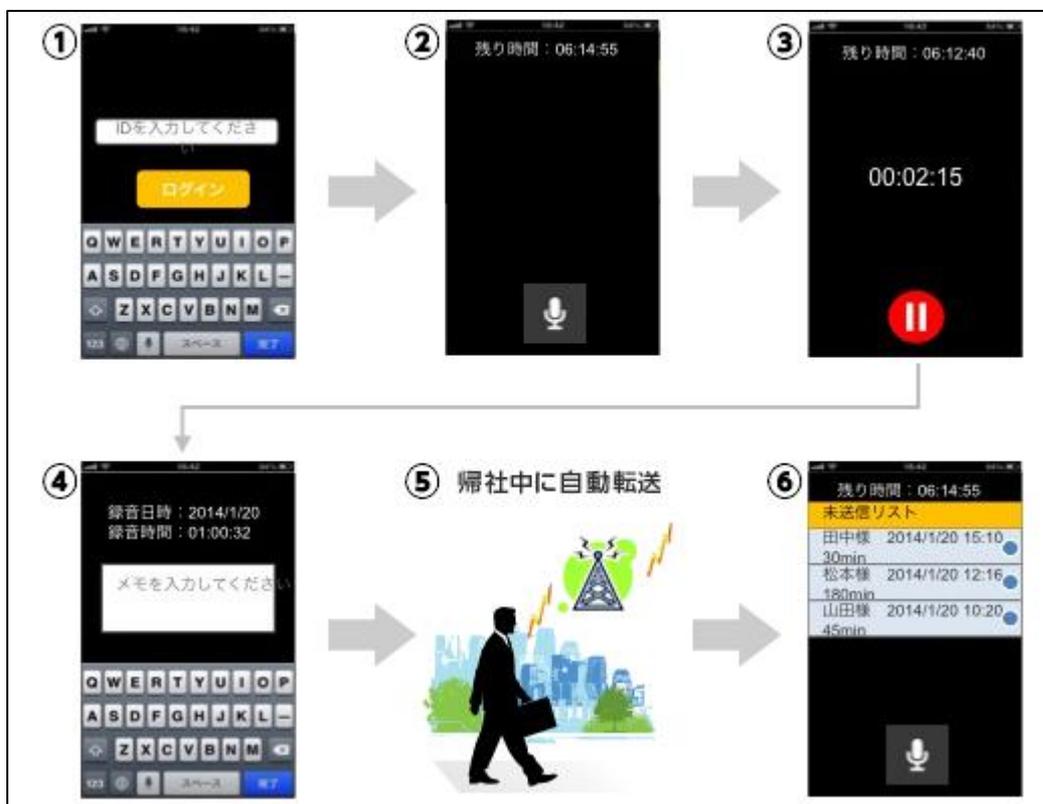
◆KAITO・セキュア・レコーダの3つのポイント

- ①非同期セキュア通信技術による高速かつ確実なデータ転送
- ②録音データをセンタで集中管理
- ③専用機不要！スピード導入、コストメリット

(参考資料 2)

■参考 2 : KAITO (カイト)・セキュア・レコーダ 画面イメージと操作方法

<だれでも簡単に、高速かつ確実にデータを転送！>



KAITO・セキュア・レコーダは、だれでも簡単に利用できます。

「①アプリを起動、②音声を録音、③メモを残す」といった3ステップで、高速かつ確実に音声データの転送ができます。録音したデータは自動で転送されます。

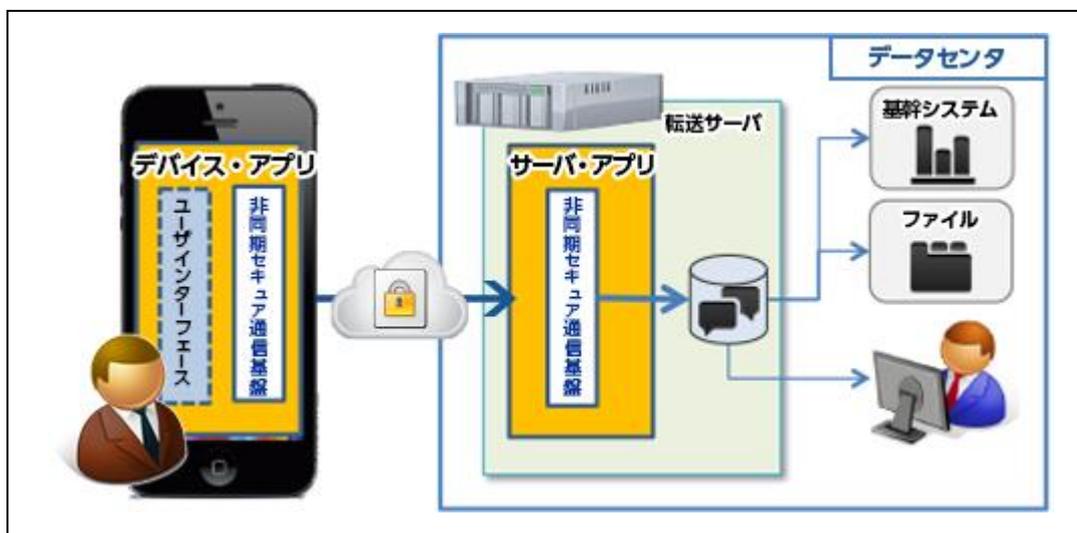
◆使用方法

- ① ID・パスワード入力
- ② ワンクリックで録音開始
- ③ 録音終了が簡単で、残り時間も一目でわかる
- ④ 録音した音声とメモをセットで保存可能
- ⑤ サーバへ安全に自動転送
- ⑥ 未送信リストも一目で確認可能

(参考資料 3)

■参考 3 : KAITO (カイト)・セキュア・レコーダ 構成図

< 2つの要素で構成 >



KAITO (カイト)・セキュア・レコーダは、スマートデバイス (iPhone, iPad, iPad mini) にインストールするアプリと、サーバにインストールするアプリケーションの2つの要素で構成されています。

◆スマートデバイス用アプリ

- ・お客様との会話を暗号化し録音、その録音データをサーバへ転送
- ・転送完了後、音声データを削除



◆サーバ用アプリケーション

- ・スマートデバイスから送信された音声データを受信し、データを一元管理
- ・録音データの確認 (管理者が会話の内容を確認)



(参考資料 4)

■参考 4 : KAITO Secure シリーズ

KAITO Secure シリーズとは、ビジネスでスマートデバイスをより安全に活用するための弊社独自開発のセキュリティソリューション群です。

このたびの KAITO (カイト)・セキュア・レコーダも KAITO Secure シリーズの 1 製品です。

◆高セキュリティブラウザ「KAITO(カイト)」

JMAS が提供する「KAITO」は、銀行、証券、保険などの大手金融機関様をはじめ、多くの企業様で導入実績のあるセキュリティブラウザです。情報漏えいリスクを排除し、業務でも安全な Web ブラウジングを実現します。クライアント証明書のサポートを始めとする KAITO が有する様々なセキュリティ機能（通信履歴／キャッシュ／クリップボード／JavaScript などの抑止機能）やフィルタリング機能を併用することで、高度なセキュリティニーズにも対応できます。

製品紹介ページ URL : <http://kaito.jmas.co.jp/>

◆KAITO (カイト)・セキュア・レコーダ

スマートデバイスで録音した音声を高速かつ確実にデータセンタに転送し、音声データをサーバで一元管理できるレコーディングサービスです。

音声データは、「非同期セキュア通信技術」（特許申請予定）により、通信状況に依存せず高速かつ確実に転送されます。

また、転送完了後には、スマートデバイス内にある音声データを削除します。万が一、スマートデバイスを紛失しても、スマートデバイス内に音声データが存在しないため、重要なデータの悪用を未然に防ぎます。

KAITO・セキュア・レコーダは、企業がスマートデバイスを活用するうえで、要求される高いセキュリティを実現します。

製品紹介ページ URL : <http://securerecorder.jmas.co.jp/>

◆KAITO (カイト)・セキュア・カメラ

スマートデバイス内の画像データを安全に転送します。(2014 年 5 月 リリース予定)

■株式会社ジェーエムエーシステムズについて■

日本能率協会(JMA)のコンピュータ事業部から発展的に独立し、1971年(昭和46年)に創立されたシステムインテグレータです。システムコンサルティング、ERP や BI 等の各種パッケージソフトウェアの販売導入、受託開発、ネットワーク構築、企業向けスマートフォン導入・開発サービス等を提供しています。

設立 : 1971 年 11 月
資本金 : 3 億 8,150 万円
代表者 : 丸尾健司
事業内容 : システムインテグレーション
ソフトウェア販売・導入、インフラ／ネットワーク構築
法人向けスマートデバイス導入・開発・プロダクト販売

※iPhone、iPad は Apple Inc.の商標です。iPhone 商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

※Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

※Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

※社名・製品名などはすべて各社の商標または登録商標です。